

福山大学経済学論集総目次

論 文

	卷	号	頁
銅座の変遷と住友家……………宮 本 又 次	・ 1	・ 1	・ 1
欧州三共同体から欧州同盟へ……………片 山 謙 二	・ 1	・ 1	・ 33
地方財政史の一断面……………柏 井 象 雄	・ 1	・ 1	・ 59
—— 危機と対策 ——			
初期ケインズの貨幣観序説……………片 岡 俊 郎	・ 1	・ 1	・ 79
—— 「マーシャル伝」を中心にして ——			
「供給過剰について」の J. S. ミルの見解……………長谷川 隆 彦	・ 1	・ 1	・ 91
カルドアの分配理論と パシネッティの分配理論……………掛 江 正 造	・ 1	・ 1	・ 111
銅座掛屋と住友家……………宮 本 又 次	・ 1	・ 2	・ 132
欧州同盟に関するティンデマンス報告……………片 山 謙 二	・ 1	・ 2	・ 158
—— 報告の全貌とその意義 ——			
行政サービスと租税負担……………柏 井 象 雄	・ 1	・ 2	・ 224
初期ケインズの貨幣観……………片 岡 俊 郎	・ 1	・ 2	・ 240
—— 『インドの通貨と金融』における ケインズの問題意識 ——			
J. S. ミルにおける生産、分配二分法問題の一考察……………長谷川 隆 彦	・ 1	・ 2	・ 252

パシネッティの分配理論について……………	掛 江 正 造	・ 1 ・ 2	・ 266
緒方洪庵と適塾と大阪の町人社会……………	宮 本 又 次	・ 2 ・ 1	・ 1
経済通貨同盟の検討……………	片 山 謙 二	・ 2 ・ 1	・ 27
—— マルジョラン報告の意義と評価 ——			
都市財政の危機と課題……………	柏 井 象 雄	・ 2 ・ 1	・ 59
産業資本と貨幣……………	片 岡 俊 郎	・ 2 ・ 1	・ 73
—— 「貨幣の資本への転化」問題への一視角 ——			
J. S.ミルにおける生産、分配二分法問題(2)……	長谷川 隆 彦	・ 2 ・ 1	・ 88
カルドア体系における過少雇用均衡 から完全雇用均衡への移行について……………	掛 江 正 造	・ 2 ・ 1	・ 100
福德思想の発生と吉祥への願望……………	宮 本 又 次	・ 2 ・ 2	・ 138
「ジェンキンス構想」をめぐって……………	片 山 謙 二	・ 2 ・ 2	・ 172
—— 単一通貨は創出されるか ——			
景気政策と地方財政……………	柏 井 象 雄	・ 2 ・ 2	・ 242
初期ケインズの貨幣観(2)……………	片 岡 俊 郎	・ 2 ・ 2	・ 254
—— 『インドの通貨と金融』における ケインズの金為替本位制度観 ——			
不完全雇用状態における所得分配……………	掛 江 正 造	・ 2 ・ 2	・ 270
資本輸出と発展途上国……………	棚 池 康 信	・ 2 ・ 2	・ 290
—— 発展途上国向け資本輸出の「新展開」 ——			
五代友厚と朝陽館……………	宮 本 又 次	・ 3 ・ 合併	・ 1
欧州統合における経済効果の分析覚書……………	片 山 謙 二	・ 3 ・ 合併	・ 21

日本的経営の特質の一考察……………米 花 稔・3・合併・	69
—— 経営環境論的接近 ——	
J. S. ミル『経済学原理』における 政府活動の論拠についての覚え書……………長谷川 隆彦・3・合併・	93
弘成館決算表について……………長 沢 康 昭・3・合併・	107
わが国における医療保険の計量経済学的 分析(I)……………仁 科 保・3・合併・	131
EMS(欧州通貨制度)について……………片 山 謙 二・4・合併・	1
J. M. ケインズと貨幣……………片 岡 俊 郎・4・合併・	53
—— 『インドの通貨と金融』における 貨幣論学者としてのケインズ ——	
三菱財閥の役員兼任関係と統制機構……………長 沢 康 昭・4・合併・	63
—— 大正10年～昭和19年 ——	
契約原価算定のための原価概念……………吉 田 一 将・4・合併・	95
—— 非許容原価の測定 ——	
わが国の産業立地の業態的推移の考察……………米 花 稔・5・合併・	1
—— 7の類型の20年間について ——	
マルクス経済学の再生……………片 岡 俊 郎・5・合併・	56
—— 杉原四郎『マルクス経済学の形成』 研究序説 ——	
アシマコプロスとカルドアの所得分配論……………掛 江 正 造・5・合併・	77
アジア、ラテン・アメリカ諸国の資本輸入…棚 池 康 信・5・合併・	97
—— 60年代の資本輸入構造 ——	

欧州通貨は安定しているといえるか……………片山謙二・6・合併・	1
—— EC委員会『年次経済概観』'79-'80, '80-'81, '81-'82年度版によるEMSの評価を中心として——	
福山市の商業近代化について……………片岡俊郎・6・合併・	30
—— 周辺主要商業地区の整備方向 ——	
ケアンズのバスティア論について……………長谷川隆彦・6・合併・	68
CASB原価計算基準のインパクト……………吉田一将・6・合併・	84
ドウワルカナート・タゴールの 企業者的活動……………三上敦史・6・合併・	105
—— 19世紀前半インドにおける 多角的事業経営の試み ——	
経済通貨同盟の現状……………片山謙二・7・合併・	1
—— EEC発足以来の 最大の危機に直面して ——	
開放経済における 動態的ストック調整過程について……………小山満男・7・合併・	38
マルクスの商品についての覚え書(1)……………片岡俊郎・7・合併・	86
—— 使用価値と価値 ——	
ポスト・ケインズ派分配モデルと マーク・アップ……………掛江正造・8・合併・	1
アメリカとカナダの製造企業 における価格決定システム……………吉田一将・8・合併・	15
20世紀初頭インドにおける 「殖産興業」論と日本……………三上敦史・8・合併・	44

EMS (欧州通貨制度)における 経済的格差是正問題について……………片山謙二・9・合併・	1
——EMSの目的に関するEC委員会の 見解の変遷を中心として——	
故松岡孝児博士の金為替本位制論について…田中生夫・9・合併・	32
——研究序章——	
ハロッドの鑄貨論……………片岡俊郎・9・合併・	46
——ハロッド『貨幣』と ケインズ『インドの通貨と金融』——	
グローバルな地中海協定の貿易効果……………棚池康信・9・合併・	64
——協定締結後のEEC＝地中海貿易の動態——	

研究ノート

資本の蓄積と技術の発展……………宮田千蔵・1・2・	284
大原孫三郎伝刊行会編『大原孫三郎伝』 を読む——大原孫三郎研究序章覚書……………田中生夫・8・合併・	81
三菱研究の現段階……………長沢康昭・8・合併・	95
OECD都市レビューにおける 地方都市整備論議について……………米花稔・9・合併・	87
——姫路市を事例として	

書 評

社会保障モデル開発研究会編 『社会保障の計量経済学』……………仁科保・5・合併・	129
---	-----

森俊治著『研究開発管理論』第5版……………米 花 稔・7・合併・103

翻 訳

W. B. ハウザー著

徳川時代畿内の綿加工と綿商業の普及……………長 沢 康 昭・2・1・115